

## 新型コロナウイルス感染症発生のご報告とお詫び（第1報）

令和4年1月11日、当法人が運営する「寿光会ヘルパーステーション」のヘルパー職員1名に新型コロナウイルスの陽性（LAMP法検査）が判明しました。ご利用者様、ご家族様また関係機関の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

1月10日に当該ヘルパー職員が発熱等の症状出現し、1月11日に近医受診、抗原検査にて陽性と診断されました。並行して同グループの恵寿病院でのLAMP法検査を実施し同様に陽性を確認致しました。

管轄保健所より「当事業所職員は濃厚接触者には該当しない」とのことでしたが、万全を期するためにも、事業所職員全員にLAMP法検査を実施し、本日全員の陰性が確認されました。

なお、当グループでは令和2年11月より新型コロナ感染予防対策として毎週全職員（居宅サービス部門は週2回）対象に定期的な遺伝子検査（LAMP法）を継続しており、1月7日（金）に検査した結果は、当該職員を含め、全員陰性でした。しかし、グループの判断で当該ヘルパー職員が1月7日にサービス提供したご利用者様に対して本日LAMP法検査を実施し全員が陰性でした。

当事業所と致しましては、今後も職員の定期検査を継続しコロナ感染対策を強化しながらサービス提供を実施して参ります。また、今後の状況につきましては、本ホームページにて随時ご報告させていただきます。この度は、多くの皆様にご多大なるご心配をおかけ致しますが、何卒、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

令和4年1月12日  
社会福祉法人寿光会  
理事長 出口喜男